

## 第2章 清須市の生涯学習を取り巻く状況

### 1. 清須市の概要

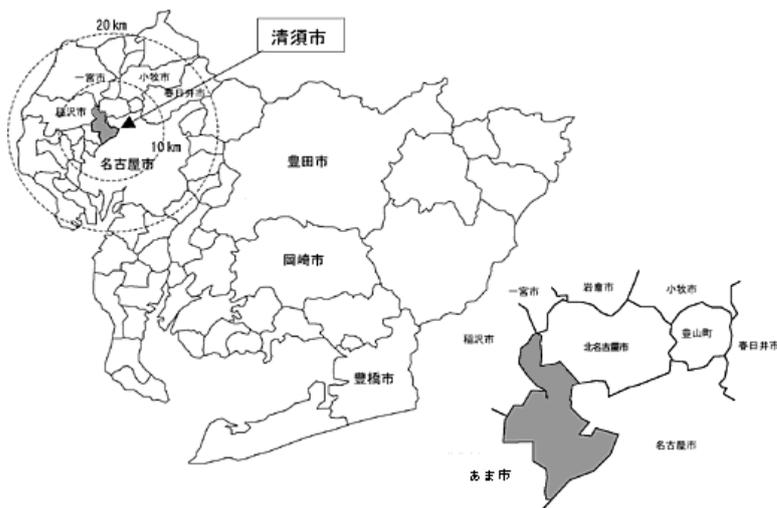
#### ① 位置・面積等

清須市は、愛知県西部、尾張平野のほぼ中央に位置し、南部は名古屋市に隣接しています。また、北部は北名古屋市、一宮市及び稲沢市に接し、東部は名古屋市に、西部はあま市に接しています。

面積は、1,735ha で、東西約 5.5km、南北約 8.0km の広がりを持ち、愛知県の面積の 0.34% にあたります。

地形は比較的平坦で、庄内川の下流域にあり、ほとんどの地域が海拔 10m 未満となっています。また、庄内川のほかには新川、五条川などの河川が流れ、豊かな水辺環境に恵まれ、四季折々の風景を楽しむことができます。

交通は広域の利便性に恵まれ、JR 東海道本線、名鉄名古屋本線・犬山線・津島線及び JR 東海交通事業の鉄道網のほか、名古屋第二環状自動車道、名古屋高速 6 号清須線、16 号一宮線、国道 22 号、国道 302 号などの道路網により周辺都市との連携が図られています。



#### ② まちのあゆみ

1880 (明治 13) 年、春日井郡が東西の二郡に分かれて西春日井郡が誕生した後、西春日井郡内の町村で合併が繰り返されてきました。

1889 (明治 22) 年、下小田井村、小場塚新田村の合併により西枇杷島町が誕生しました。明治 22 年町制施行により清洲町が誕生し、1906 (明治 39) 年、朝田村、一場村と合併した後、1943 (昭和 18) 年までに大里村や甚目寺町の一部と合併しました。

1889 (明治 22) 年、下之郷村、落合村が合併し、春日村が誕生し、1990 (平成 2) 年、町制が施行され春日町となりました。1906 (明治 39) 年、桃栄町、新川町、寺野村、阿原村が合併し、新川町となりました。

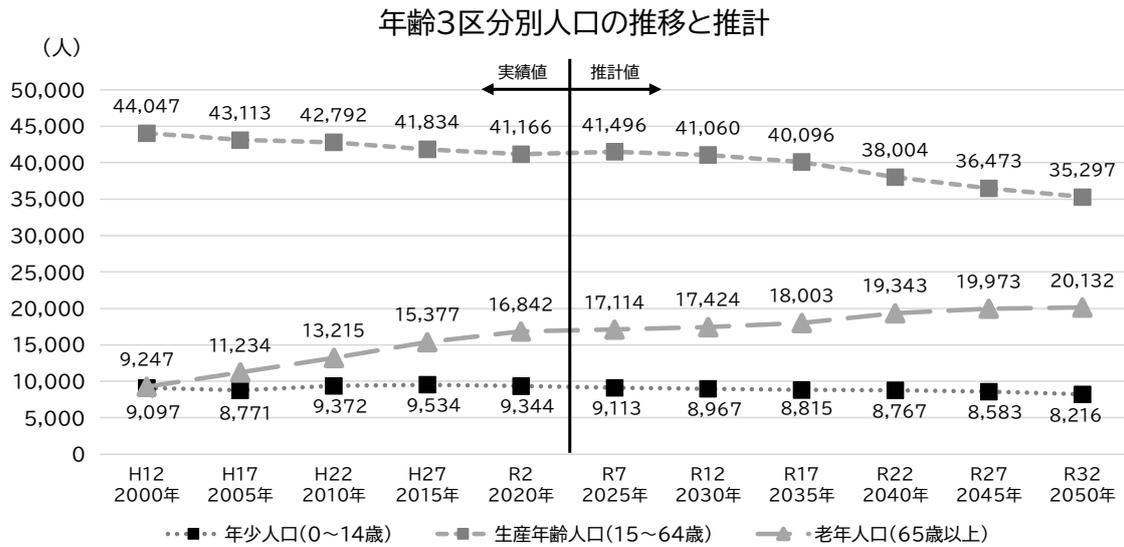
そして、2005 (平成 17) 年 7 月 7 日に西枇杷島町、清洲町、新川町が合併して清須市が誕生しました。2009 (平成 21) 年 10 月 1 日、清須市と春日町が合併し、現在に至ります。

## 2. 人口

### ① 清須市の人口推移

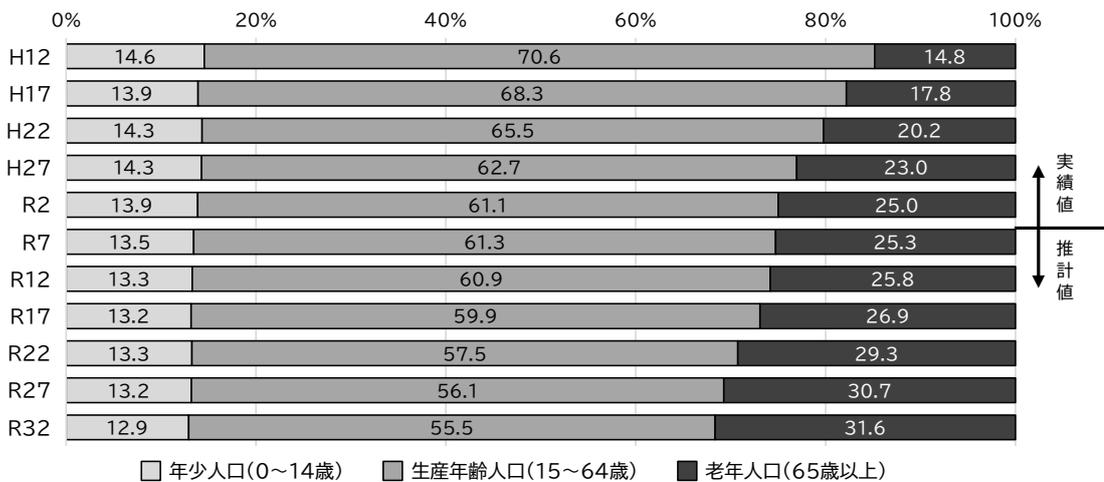
年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は、2000（平成12）年から2020（令和2）年までほぼ横ばいで推移していましたが、2025（令和7）年以降の推計値ではゆるやかな減少が続くと予測されています。

老年人口は2000（平成12）年から2020（令和2）年にかけて大幅に増加しており、2025（令和7）年以降の推計値でも増加傾向が続くと予測されています。



出典:実績値は「国勢調査」、推計値は「国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年推計)」

### 年齢3区分別人口割合の推移と推計



出典:実績値は「国勢調査」、推計値は「国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(令和5年推計)」

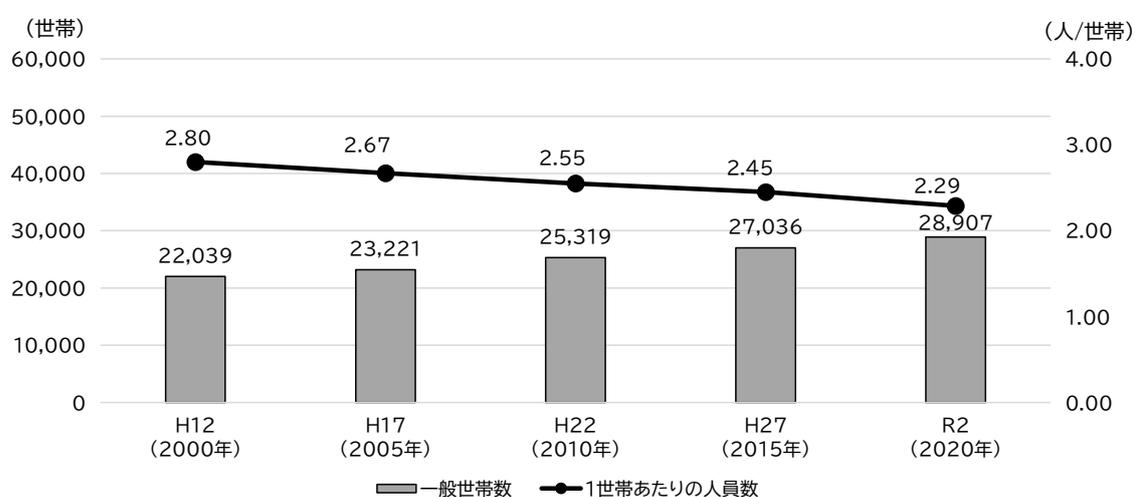
## ② 世帯数の推移

世帯数は2020（令和2）年に28,907世帯となっており、2000（平成12）年から継続して増加傾向にあります。一方、1世帯あたりの人員数は年々減少傾向にあり、2020（令和2）年には2.29人でした。

世帯構成の変化では、核家族世帯は2000（平成12）年には全世帯の61.3%を占めていましたが、2020（令和2）年には54.9%に減少しています。また、単独世帯は2020（令和2）年には37.6%となっており、2000（平成12）年と比較すると14ポイントほど増加しています。

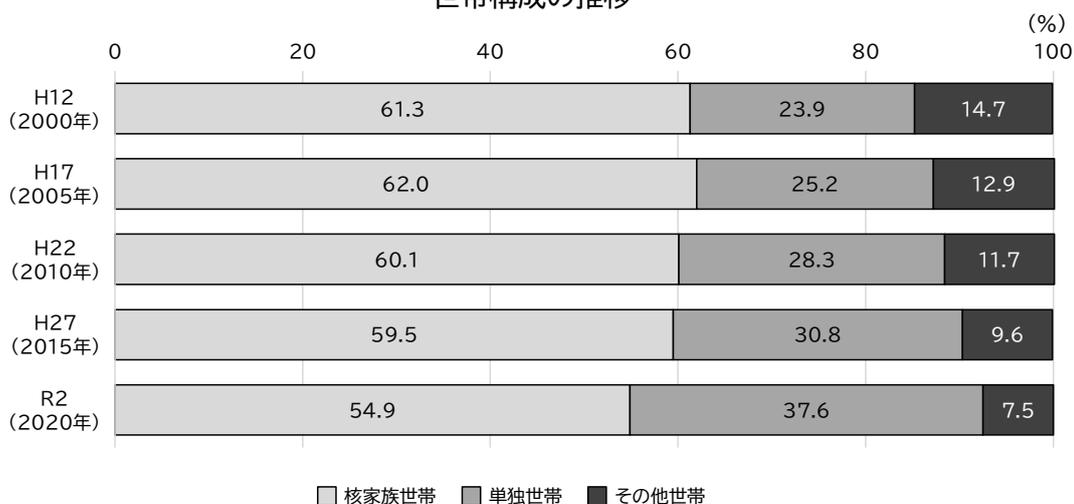
高齢者の一人暮らしや若い世代の独立志向の強まり、未婚率の上昇などが影響していると考えられます。

一般世帯数及び1世帯あたりの人員数の推移



出典:国勢調査

世帯構成の推移



出典:国勢調査

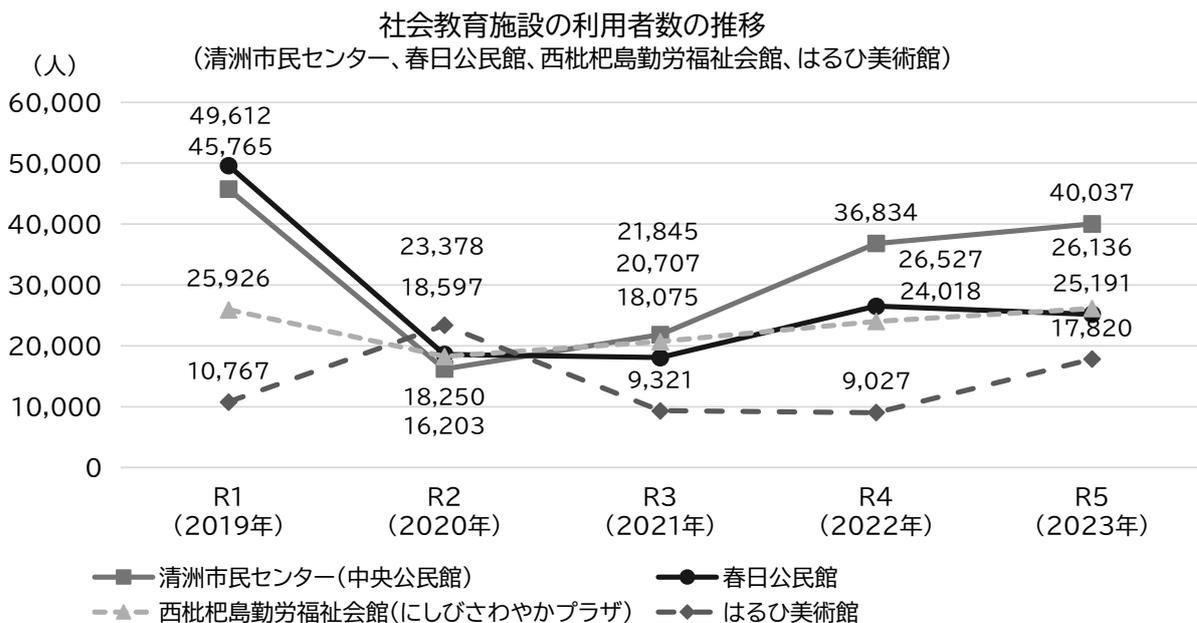
### 3. 生涯学習関連施設の利用状況

#### ① 社会教育施設の状況

本市には市民の学習活動の拠点として清洲市民センター（中央公民館）や春日公民館、西枇杷島勤労福祉会館（にしびさわやかプラザ）があります。また、子どもから高齢者までの幅広い世代の市民が気軽に読書を楽しむことができる場所として、清須市立図書館、多くの方に美術との出会いの場を広く提供する拠点としてはるひ美術館があります。

2019（令和元）年までは、すべての施設において安定した利用者数を記録しましたが、2020（令和2）年以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための臨時休館により、利用者数が減少しています。しかし、はるひ美術館は令和2年度においては企画展が好評であったため、利用者数が増加しました。

2022（令和4）年以降は、工事の影響があった春日公民館を除く3施設においては利用者が増加し、2023（令和5）年には新型コロナウイルス感染症流行前のほぼ同水準にまで回復をしています。



資料:生涯学習課



清洲市民センター



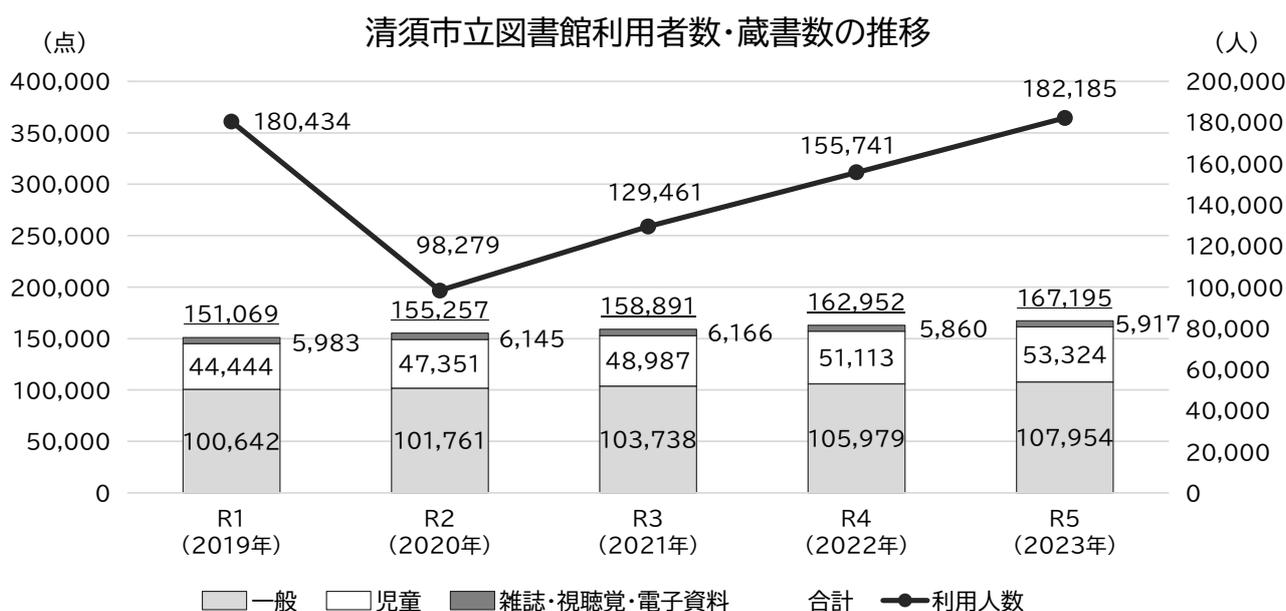
はるひ美術館

## ② 図書館の状況

利用者数は2019（令和元）年までは、安定した利用者数を記録しましたが、2020（令和2）年には、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための臨時休館により、利用者数が減少しました。

2021（令和3）年以降は、利用者数が回復し、2023（令和5）年には新型コロナウイルス感染症流行前を超える利用者数を記録しました。

蔵書数合計は2019（令和元）年以降、増加しています。



資料：生涯学習課

## ③ 文化財・史跡の状況

清須市では、東海地方屈指の弥生時代の集落である朝日遺跡をはじめ清洲城下町遺跡や美濃路など歴史・文化資源を有しています。また、西枇杷島町山車保存会などと連携し、地域の伝統文化である山車の保存・継承に取り組んでいます。

清須市歴史資料展示室では、弥生時代から戦国時代を経て現代に至るまでの清須の歴史に関する展示を行っており、西枇杷島問屋記念館では、旧山田九左衛門家住宅を現在の場所に移築復元し、江戸時代の青物問屋の商いと当時の暮らしの様子を再現しています。

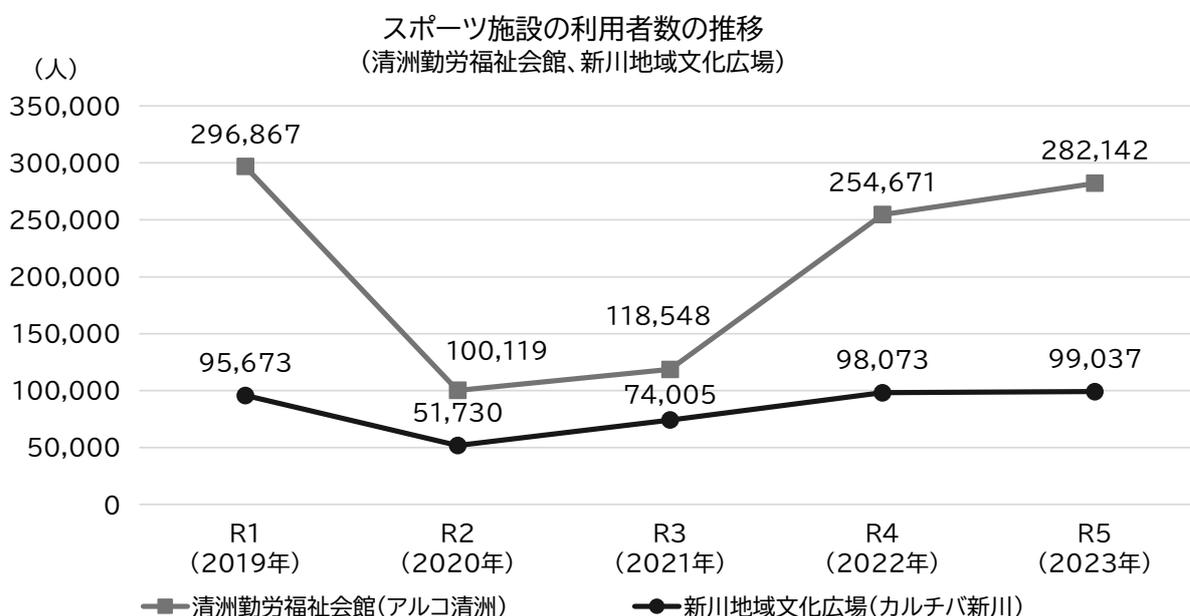
現在、本市内の指定文化財は国指定2件、県指定3件、市指定29件、国登録1件、計35件となっています。また、埋蔵文化財包蔵地は13か所となっています。

#### ④ スポーツ施設の状況

清須市には、体育館、野球場、ソフトボール場、テニスコート、スポーツ広場などのスポーツ施設があり、市民のスポーツ活動の拠点となっています。大型複合スポーツ施設である清洲勤労福祉会館（アルコ清洲）、新川地域文化広場（カルチバ新川）では、スポーツクラブが設けられており、市民の健康増進及びスポーツの推進を行っています。

2019（令和元）年までは、安定した利用者数を記録しましたが、2020（令和2）年以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための臨時休館により、利用者数が減少しています。

2021（令和3）年以降は、利用者数が増加し、2023（令和5）年には新型コロナウイルス感染症流行前のほぼ同水準にまで回復をしています。



資料:スポーツ課



アルコ清洲



カルチバ新川

## 4. 前計画の施策内容と評価

### (1) 前計画の施策内容

本市では、2018（平成 30）年に「清須市生涯学習推進計画」を策定し、「誰もが生涯にわたって学び続けられ、個性を育むまち、きよす」という基本理念を掲げ、3つの基本目標に基づき施策を展開してきました。

#### 基本目標1 市民の自主的な学びを活性化するために

施策	取組
1. 生涯学習活動を活性化するために	(1) 生涯学習に関する啓発と情報発信 (2) 生涯学習を学ぶ場の提供 (3) 生涯学習に関わる団体への支援・育成 (4) 利用しやすい図書館づくり (5) 読書活動を推進するための取組
2. 文化芸術活動を活性化するために	(1) 文化芸術活動の啓発と情報発信 (2) 文化芸術に触れる場の提供 (3) 文化芸術活動に関わる団体への支援 (4) 魅力ある美術館づくり
3. 文化を継承するために	(1) 地域の歴史・文化財保護の啓発と情報発信 (2) 文化財の保護 (3) 歴史資料の公開・展示 (4) 朝日遺跡、あいち朝日遺跡ミュージアムの啓発と情報発信 (5) 市内を流れる河川の周知 (6) 指定文化財の修理等への支援
4. スポーツ活動を活性化するために	(1) スポーツ・レクリエーション活動の啓発と情報発信 (2) スポーツイベントの開催 (3) スポーツ活動に関わる団体への支援
5. 国際交流活動を活性化するために	(1) 国際理解の啓発と情報発信 (2) 国際交流の場の提供 (3) 国際交流活動を行う団体への支援

## 基本目標2 誰もが活躍できる社会を実現するために

施策	取組
1. 男女共同参画社会を実現するために	(1) 男女共同参画社会の啓発と情報発信 (2) 女性リーダーの育成 (3) 女性の社会参加等を推進する団体への支援
2. 青少年も活躍できる社会を実現するために	(1) 家庭教育の啓発と情報発信 (2) 学校・家庭・地域の連携強化 (3) 青少年健全育成に係る行事の開催 (4) 青少年健全育成活動を行う団体への支援

## 基本目標3 生涯学習を推進するために

施策
(1) 生涯学習関連施設の適切な管理・運営 (2) 生涯学習を推進する体制の整備 (3) 行政と市民の協働による生涯学習の推進



生涯学習講座・麻雀講座



親子ふれあい広場・バランスボール



女性の会・事業「脳活&エクササイズ教室」



国際交流協会・きよす国際交流まつり

## (2) 前計画の評価

前計画の策定後から、これまで進めてきた施策・事業の推進状況を整理します。

### 基本目標1 市民の自主的な学びを活性化するために

施策	取組内容・今後の課題
1. 生涯学習活動を活性化するために	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市民が学習に関する情報を簡単に入手することができるよう、案内チラシをはじめ、ホームページの充実や市公式SNSを活用し情報を発信しました。</li><li>・市民の多岐にわたるニーズを考慮し、より多くの市民が学習に取り組めるよう、市内各施設を活用し、参加しやすい地区単位での講座開催をはじめ、高齢者向けなどの講座の充実を図りました。</li><li>・生涯学習人材バンクによる講師登録制度や、地域コーディネーター等研修会の開催により、生涯学習の担い手の発掘・育成を行いました。</li><li>・市民の読書活動を推進するため、利用しやすい図書館づくりの取組として、図書資料の充実や市内関係機関・ボランティアとの連携によるイベントや企画展示を行うとともに、図書館スタッフのスキル向上の取組を行うなど、サービスの向上に努めました。</li></ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・すべての市民が学習に関する情報を得られるように、年齢や利用者の特性に応じた情報発信の工夫が求められます。</li><li>・市民のニーズを踏まえた学習講座の設定や内容の充実をはじめ、申込方法の簡素化等、講座参加へのハードルを下げるための取組が求められます。</li><li>・「生涯学習人材バンク」への登録や活用など、生涯学習を担う地域人材の確保や育成、活用を図ることで、市民の関心やニーズにあわせた学習活動の推進を行うことが重要です。</li><li>・幅広い世代の市民が図書館を拠点としてコミュニケーションを深める場となるよう、また、外国人市民や「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」への対応を行い、多くの市民に図書館を利用してもらうためのあらゆる取組が求められます。</li></ul>

施策	取組内容・今後の課題
<p>2. 文化芸術活動を活性化するために</p>	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が身近な場所で芸術にふれる機会をつくるために、はるひ美術館での展覧会の開催や芸術劇場など各種普及事業などを通して文化芸術の啓発や情報発信を行いました。</li> <li>・文化芸術活動の担い手の育成のため、はるひ美術館でアートサポーターの活動や、清須アートラボ、小学生対象の清須キッズアートラボを行いました。</li> <li>・市民の芸術文化活動の成果発表の場として、文化展や芸能発表会を開催し、地域の芸術文化の振興と市民の参加意識の向上を図りました。</li> </ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各文化団体の会員の高齢化が進行しており、今後は文化活動の担い手の不足や団体活動の縮小が懸念されています。主に若い世代や子どもに対し、優れた文化芸術にふれる機会を積極的に提供することで、文化芸術活動の担い手を確保、育成することが求められています。</li> <li>・はるひ美術館を美術との出会いの場を広く提供する拠点として、魅力ある美術館づくりを進め、芸術の魅力の積極的な発信、特色のある展覧会を実施することで、文化芸術活動の振興を図ることが重要です。</li> </ul>



サタデーキッズ・茶華道



サタデーキッズ・朝日遺跡探検隊



生涯学習講座・清須アートラボ

施策	取組内容・今後の課題
<p>3. 文化を継承するために</p>	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清須市の歴史・文化資源である様々な文化財を保護し、後世に継承するため、清須市立図書館内の歴史資料展示室における多様な企画展示を開催し、文化財や地域の歴史・文化にふれる機会を設けました。また、文化財の保存・継承を担う西枇杷島町山車保存会への活動支援などを行いました。</li> <li>・市指定文化財所有者に市指定文化財の修理や保存施設の整備等に補助を行い文化財の保存・継承への支援を行いました。</li> <li>・愛知県や県埋蔵文化財センターなどの関係機関と連携し、文化財に関する講座や講演会を開催し、市民が地域の歴史・文化財に対する理解と関心を深める機会を設けました。</li> <li>・愛知県の「あいち朝日遺跡ミュージアム」と連携し、文化財講座や歴史講演会を開催しました。また、あいち朝日遺跡ミュージアムや朝日遺跡の普及・啓発を行いました。</li> </ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進行などにより、山車をはじめとする文化財を後世に継承する担い手が不足しています。</li> <li>・市民のニーズを踏まえた文化財に関する歴史資料展示室での企画展示や講座、講演会のより一層の充実が求められます。また、文化財や尾張西枇杷島まつりに関連する歴史、意義などについて学ぶ機会の充実を図ることで、担い手となり得る人材の確保、育成に努めることが重要です。</li> <li>・「あいち朝日遺跡ミュージアム」など関係機関とのさらなる連携を図り、市民が歴史や文化を学ぶきっかけを提供することが求められます。</li> </ul>



埋蔵文化財（清洲城下町遺跡）



歴史資料展示室

施策	取組内容・今後の課題
<p>4. スポーツ活動を活性化するために</p>	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がスポーツ・レクリエーション活動に関する情報を手軽に入手できるように、市広報やホームページにて情報を発信しました。</li> <li>・各地区体育祭及びスポーツフェスティバルや地域資源を活用した清須ウォーク、市内及び近隣市のプロスポーツチームと協力して各種スポーツ教室等を開催し、市民がスポーツ活動に関心を持ち、自主的に取り組む機会の提供を行いました。</li> <li>・市民のスポーツ活動において、多様なスポーツを行う機会を提供するため、様々な種目のスポーツ教室を行いました。</li> <li>・スポーツ活動を継続的に活性化させるため、体育協会、子ども会、レクリエーション協会、B &amp; G春日海洋クラブ及びスポーツクラブに支援を行いました。</li> <li>・市民に対するスポーツ・レクリエーション活動の啓発やスポーツ活動の促進を図るため、スポーツ推進委員の活動を支援しました。</li> <li>・スポーツ活動に関わる団体の会員数はどれも減少傾向にあるため、市広報や会員募集のリーフレット、イベント等を通じて、新規会員を増やす取組を行いました。</li> <li>・スポーツ教室において、申込方法を簡素化するため、申込フォームやメールなどを導入しました。</li> </ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区で開催されている体育祭及びスポーツフェスティバルや地区対抗で行う市民スポーツ大会は、少子高齢化や生活様式の変化により、地域の役員の出場者集めに苦慮する場面があり、種目や募集方法等を検討していく必要があります。</li> <li>・コロナ禍で行うことができなかったため、高齢者や障がいのある人も参加することのできるスポーツ教室やスポーツ大会を企画する必要があります。</li> <li>・スポーツ推進委員や関係団体の役員の高齢化や会員不足により、活動の運営に影響を及ぼしていることから、引き続き活動継続のための新たな担い手の発掘と育成が求められています。</li> <li>・施設予約システムを導入し、市民に対する施設利用の利便性を図ります。</li> </ul>

施策	取組内容・今後の課題
5. 国際交流活動を活性化するために	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習講座やサタデーキッズクラブ等での国際理解を深めるための講座の実施、国際交流員を学校、保育園等に派遣し、国際理解授業や文化の紹介をしてきました。</li> </ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化が進行する中、国際理解の一層の促進が重要です。誰もが多様な言葉や文化に対して関心を持ち、理解を深めることで、国際交流や外国人市民が暮らしやすいと感じる多文化共生の環境づくりが求められます。</li> <li>・外国人市民の学習機会の確保のため、学習に参加しやすくなるように、外国人市民のニーズに応じた行政的支援が求められます。</li> <li>・教育機関においては、専科講師や外国語指導助手の活用により、外国語教育や多文化共生等を学ぶ機会の充実と、小・中学校間の円滑な移行を図ることが重要です。</li> </ul>



二十歳のつどい



サタデーキッズ・国際理解講座



子ども会スポーツ大会（大なわとび）



市民親睦スポーツ大会（ソフトボール）

## 基本目標2 誰もが活躍できる社会を実現するために

施策	取組内容・今後の課題
1. 男女共同参画社会を実現するために	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画講演会や関係団体の支援により、男女共同参画に関する情報を発信することで、男女共同参画社会の啓発を行いました。</li> <li>・男女共同参画推進懇話会では、男女共同参画講演会、男女共同参画プランの進捗状況について議論し、男女共同参画の推進に取り組みました。</li> </ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性別に関わらず誰もが生涯にわたり多様な学習機会が確保され、学習の成果が適切に評価されるよう、生涯学習の推進に取り組むことが重要です。</li> </ul>
2. 青少年も活躍できる社会を実現するために	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育の推進のため、親子講座や行事を通じて地域の親子の交流を促進しました。</li> <li>・サタデーキッズクラブの開催、二十歳のつどい(旧成人式)等を通して、次代を担う青少年の健全育成に取り組みました。</li> <li>・令和4年4月に地域学校協働本部を設置し、市内小中学校に地域学校協働活動推進員を配置し学校と地域との連携協力体制を整備しました。</li> <li>・GIGAスクール構想の推進により、タブレット端末の活用が進み、一人ひとりの主体的な学習を促進する個別最適な学びが進みました。</li> <li>・令和5年度から、市立全小中学校で学校運営協議会が発足し、学校・家庭・地域が連携し、「地域と共にある学校づくり」や「信頼される学校づくり」への取組をはじめました。</li> </ul> <p><b>【今後の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座で扱うテーマが固定化されつつあるため、市民のニーズを把握し、柔軟に対応することが求められます。</li> <li>・核家族化の進展や地域のつながりの希薄化により、地域ぐるみで青少年の健全育成を推進する環境づくりが難しくなっています。</li> <li>・青少年健全育成や家庭教育支援に取り組む団体と連携を取り、青少年の教育環境の向上を図ることが重要です。</li> <li>・地域学校協働本部や学校運営協議会との連携を強化し、地域の資源を活かした教育活動を推進し、子どもたちの学びや成長を支える環境を整えることが求められます。</li> </ul>

### 基本目標3 生涯学習を推進するために

	取組内容・今後の課題
生涯学習関連施設の適切な管理・運営	<b>【取組内容】</b> ・清洲勤労福祉会館（アルコ清洲）、新川地域文化広場（カルチバ新川）、春日B & G 体育館の大規模改修や老朽化が著しい社会体育施設及び学校開放施設の修繕等を実施し、利用者が快適にスポーツ活動を行うことのできる環境を整備しました。 ・地域住民が様々な活動が行えるように、市施設の開放を行い、多様な施設利用を促進しました。
	<b>【今後の課題】</b> ・公共施設等総合管理計画に基づき、生涯学習関連施設の適切な管理・運営を行います。 ・市民がスポーツ・レクリエーション活動を安全で快適に行うことができるように、施設の改修・修繕を行い、また、施設を利用する上での留意点の周知を行っていきます。
生涯学習を推進する体制の整備	<b>【取組内容】</b> ・市内の短期大学と連携し、清須市民げんき大学を開講し 164 人が卒業しました。
	<b>【今後の課題】</b> ・市内の関連部署と連携し、学びの場や機会の提供できる体制の整備に努めます。
行政と市民の協働による生涯学習の推進	<b>【取組内容】</b> ・市民と市の情報共有や交流を促進するため、清須市協働テラスを実施しました。また、市内中学生との意見交換会を開催し、子どもの意見の聴取を行いました。
	<b>【今後の課題】</b> ・清須市協働テラス等まちづくりや生涯学習を推進するための意見交換会へより多くの方が参加できる環境づくりと交流の場の創出が求められます。



市立図書館交流テラス



小田井公民館（にしき創造センター）

### (3) 指標の達成状況

成果指標の達成状況は次のようになっています。

<p>【評価】</p> <p>◎ …2023（令和5）年の現状値が目標値を達成している</p> <p>○ …目標値に達していないが、2019（令和元）年の実績値から改善している</p> <p>△ …2019（令和元）年の実績値より後退または横ばいである</p>
--

#### 基本目標1 市民の自主的な学びを活性化するために

活動指標では、多くの項目で改善がみられ、目標を達成していますが、成果指標では実績より後退しているものがみられます。取組は積極的に進めているものの、イベント等の参加者や施設の利用者、団体会員数が減少しており、期待する成果が得られていない現状がうかがえます。市民のニーズや関心に応じたイベント等の開催や周知が求められます。

#### 基本施策1 生涯学習活動を活性化するために

成果指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
市民意識調査における「生涯学習」の内容まで理解している人の割合	27.9%*	33.6%	40.0%	○
清須市立図書館の入館者数	180,434人	182,185人	200,000人	○
図書館で開催するイベントの参加者数	5,270人	3,147人	5,500人	△

\*平成25年度の数値

活動指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
生涯学習講座の講座数	26講座	25講座	26講座	△
サタデーキッズクラブの教室数	12教室	14教室	12教室	◎
図書館の蔵書数	151,069冊	167,195冊	152,000冊	◎

#### 基本施策2 文化芸術活動を活性化するために

成果指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
芸術劇場の参加者数	273人*	290人	300人	○
はるひ美術館の入館者数	10,767人	17,820人	17,000人	◎
文化協会の会員数	1,370人	830人	1,370人	△

\*平成28年度の数値

### 基本施策 3 文化を継承するために

成果指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
文化財講演会の参加者数	69人	51人	150人	△
歴史資料展示室での企画展の入場者数	12,425人	14,112人	20,000人	○

活動指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
文化財講座の開催回数	4回	4回	4回	◎
歴史資料展示室での企画展の開催日数	252日	268日	260日	◎

### 基本施策 4 スポーツ活動を活性化するために

成果指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
総合型地域スポーツクラブの会員数	342人	367人	500人	○
体育協会の会員数	2,277人	1,840人	2,350人	△
新川地域文化広場（カルチバ新川） 清洲勤労福祉会館（アルコ清洲） 春日B & G 体育館の利用者数	425,967人	405,436人	430,000人	△
週1回以上 スポーツ・レクリエーション 活動を行っている市民の割合	20.0%*	23.4%	24.0%	○

\*平成30年度の数値

活動指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
体育協会の主催大会数	23大会	24大会	23大会	◎
新川地域文化広場（カルチバ新川） 清洲勤労福祉会館（アルコ清洲）での 自主事業数	91事業	93事業	100事業	○

### 基本施策 5 国際交流活動を活性化させるために

成果指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
友好姉妹都市提携に基づく スペイン関連事業の参加者数	122人	72人	140人	△

活動指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
学校等における 国際理解授業の実施回数	74回	86回	95回	○

## 基本目標 2 誰もが活躍できる社会を実現するために

活動指標では、多くの項目で改善がみられ、目標を達成していますが、成果指標では実績より後退しているのがみられます。取組は積極的に進めているものの、その成果が浸透していないことがうかがえます。市民の理解を深めるため、活動の重要性の周知や、参加しやすい環境整備が求められます。

### 基本施策 1 男女共同参画社会を実現するために

成果指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
男女共同参画講演会の参加者数	184人	135人	350人	△
市の委員会・附属機関等における女性委員の割合(清須市調べ)	34.6%	37.7%	40.0%	○

活動指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
男女共同参画推進懇話会の開催回数	1回	2回	2回	◎

### 基本施策 2 青少年も活躍できる社会を実現するために

成果指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
青少年健全育成大会の参加者数	330人	254人	350人	△

活動指標	実績値 令和元年度	現状値 令和5年度	目標値 令和6年度	評価
親子ふれあい広場の開催回数	6回	6回	8回	△
地域コーディネーター会議等の開催回数	1回	2回	3回	○
地域コーディネーター※の人数	19人	24人	20人	◎

※2022(令和4)年4月1日より地域学校協働活動推進員として委嘱



青少年健全育成大会



東海豪雨の水防カルタ

## 5. 生涯学習の推進に必要な視点

社会情勢の変化や国・県の動向、清須市の生涯学習を取り巻く状況を踏まえると、生涯学習の推進に必要な主な視点は以下のとおりです。



### 社会の持続的な発展に向けた学び続ける人材の育成

少子高齢化が急速に進展する我が国においては、出生率の低下や平均寿命の延伸などによりさらなる健康長寿社会を迎えることが想定されています。清須市の高齢化率は今後増加傾向が続くと予測されており、長い人生をより充実させるためには、生涯にわたる多様な学習の機会が求められます。

また、社会や経済、技術の変化が急激に進む現代は、将来の予測が不可能な環境となっており、柔軟性や対応力が求められます。持続可能な社会を築くためには、学び続ける人材の育成が重要です。



### 誰もがアクセスしやすい学習機会の提供

すべての市民が学習に取り組むことができるよう、幅広いニーズに対応した学習機会の充実や、学習を始めるきっかけづくりが求められます。また、高齢者や障がいのある人、外国人市民など、学びへのアクセスが困難な人への配慮が求められるとともに、新型コロナウイルス感染症の流行を契機とする情報化の進展から、いつでもどこでも学べるオンラインでの学習が進んでいます。誰もが自分のペースで、自分に合った方法で学ぶことができる社会の実現が求められています。



### 生涯学習を通じたつながりの創出

家族の在り方の変化、近隣関係の弱まり、生活様式の多様化などによって、地域社会における人と人とのつながりが希薄になり、家庭や地域での教育力の低下を招いています。

市民が個々の学びを地域に還元することで、学習を通じた市民同士の交流が生まれ、地域のつながりを強化し、コミュニティの絆を深めることができます。また、地域の人々が協力して学ぶことで、学習を通じた豊かな地域づくりの実現が期待できます。



### 利用しやすい生涯学習施設の整備

市民の学習を支える施設として、市内には社会教育施設や社会体育施設が数多くあります。利用者推移においては、新型コロナウイルス感染症流行により利用者数の低下がみられたものの、2023（令和5）年においては流行前のほぼ水準にまで回復をしています。市民アンケート調査においては、生涯学習をより活発にするために市が特に力を入れるべきこととして「生涯学習関連施設などにおけるサービスの充実」が多く挙げられていることから、生涯学習施設のさらなる利用を推進する取組が求められています。



清洲城